海外レポート	**ベトナム　ホーチミン**

「ベトナム・ドンの中長期的な為替転換：ドン高へ？」

石川　幸

＜新型コロナウイルス感染対策状況＞

ベトナムの新型コロナウイルス感染状況は、世界各国や他のアジアの諸国の現状と比較すると、極めて良好に抑制できているのですが、ワクチン対応・感染予防（海外渡航での検疫規制）は続いており、国外からの流入制限措置も続いています。日本との往来は友好的ですが、現在も、個別承認制での渡航許可であり、指定隔離施設での隔離期間は、これまでの２週間から１週間延びて３週間に強化されました。また、外国から変異株ウイルスが持ち込まれないように水際対策を政治的にもアピールしています。

ベトナム国内で散発的に起こる感染拡大の封じ込め（感染発生場所やマンション等の封鎖）も報告されています。市内ではマスク警察（マスク不着用での罰金）の見回り強化などが起きています。なお、ワクチン確保に努めている報道はされていますが、広範な市民向けワクチン接種はまだ開始されていません。

＜景況＞

このコロナ禍の中、2020 年の GDP は実質＋2.9%、2021 年１～３月期速報値も＋4.5%と引き続き好調を維持しています。この数字は世界的にも高水準であり、コロナ禍で大きなダメージを受けている観光業などはありますが、全体として、しなやかで相対的な成長性・優位性を示しています。なお、業種別成長率でみると、サービス業全体は、コロナ禍で最も大きく減速した業種ですが、卸売・小売業は＋５.５％成長を示しています。ちなみに日本は、５月に発表された GDP では 2020 年度が対前年比▲4.6%（第二次世界大戦後で最低）、2021 年１～３月期も実質▲5.1%と引き続き厳しいコロナ不況下にあると思われます。

＜安定した水準を維持するドン＞

さて、ベトナム国の通貨である VND（ベトナム・ドン）ですが、近年は安定した水準を維持していることに中長期的にも着目して良いかと思われます。

2020 年には 1USD=23,500VND 水準でしたが、現在は緩やかなドン高になっており、23,100VND 水準となっています。各種為替相場のチャートをぜひ参考までに確認してみてください。

現在、特に大きな材料は見当たらないと思いますので、過去とは異なり VND 為替相場（特に USD[米国ドル]対比）は安定しています。そして米国財務局が 2020 年 12 月に公表した為替報告書では、ベトナムは為替操作国として認定されていましたが、現在は認定が解除されています（バイデン政権下の現在、米国が為替操作国として認定した国はゼロです）。

ただし、ベトナムの対米国向け貿易黒字は持続的、構造的なものとなっています。

＜ドン高への可能性＞

日本円の米ドル為替水準が大きく切り替わった歴史的なイベントは 1985 年のプラザ合意で、それを経て為替水準は、円高・ドル安へと大きく変更していきました。ベトナムにおいても、このような歴史的なイベントがいずれ起きるかもしれません。あるとしたら、米国からの政治的な圧力で、為替相場の変動性拡大などでしょうか。

米国と中国の貿易戦争などに隠れて、大きな報道はされていないかもしれませんが、ベトナムは対中国との輸入超過、対米国との輸出超過という構造が定着しています。かつての、日本（日本円）と似たような構造と言えます。プラザ合意当時の日本（世界における構造）とは大きく異なるのですが、中長期的にみて、ドン高への転換点に差し掛かっている可能性があるかもしれません。（なお、私見ですが、ベトナムドン高を狙った投資流入が起きているとは見なしていません。）

＜お知らせ：外国人の労働許可への強化＞

ベトナムの労働法が改正され、更新を含む外国人の労働許可について強化された運営が起きています。具体的には、専門性の厳密運用で、卒業証明書、当該学士の専門性に合致した職務であるか否か、ベトナム人労働者で対応できない職種であるか等、問われています。労働許可証の期限が迫っている方は、余裕を持った申請を心がけてください。目安としては、期限２カ月前からの着手をおすすめします。